

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

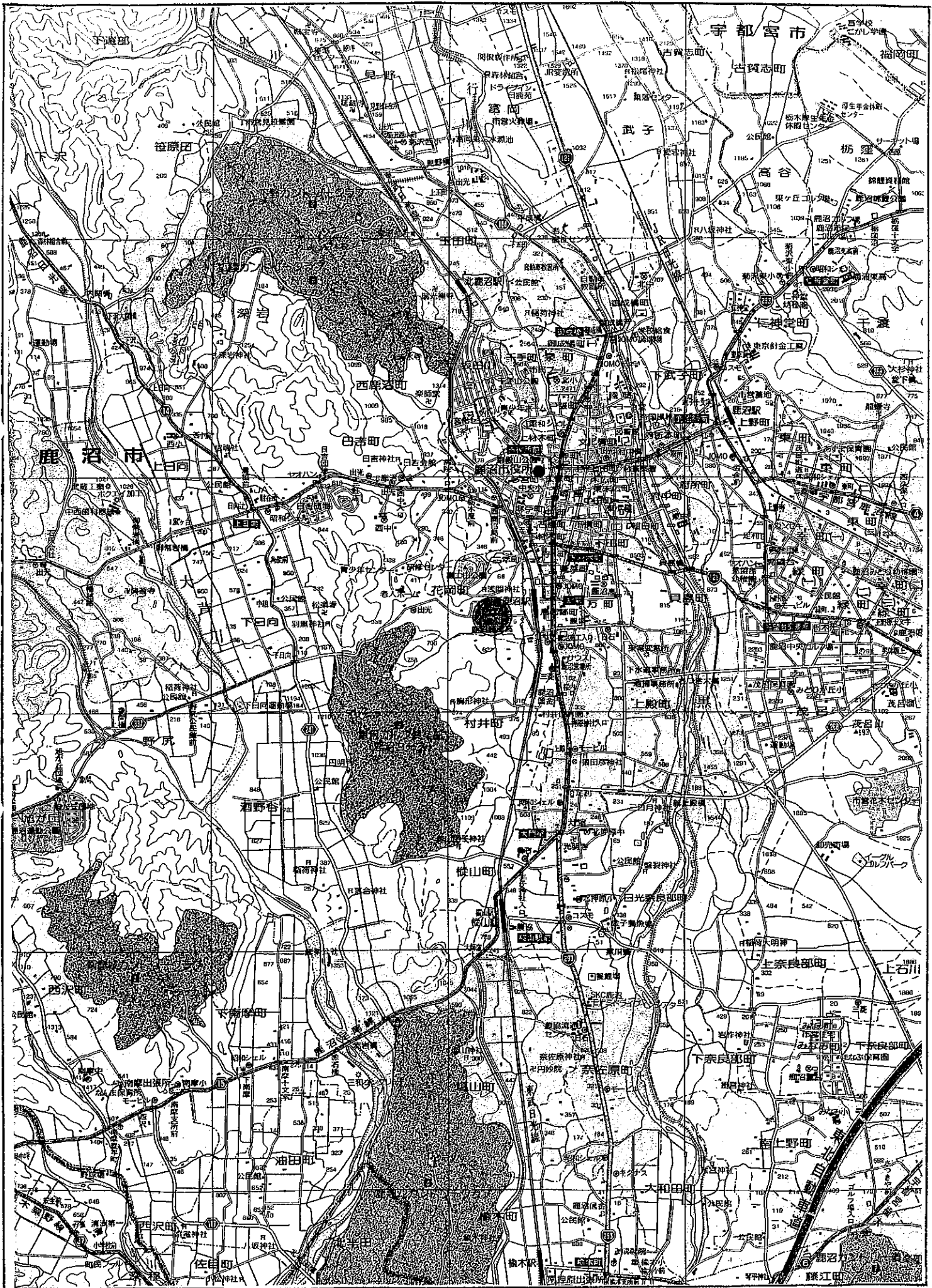
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

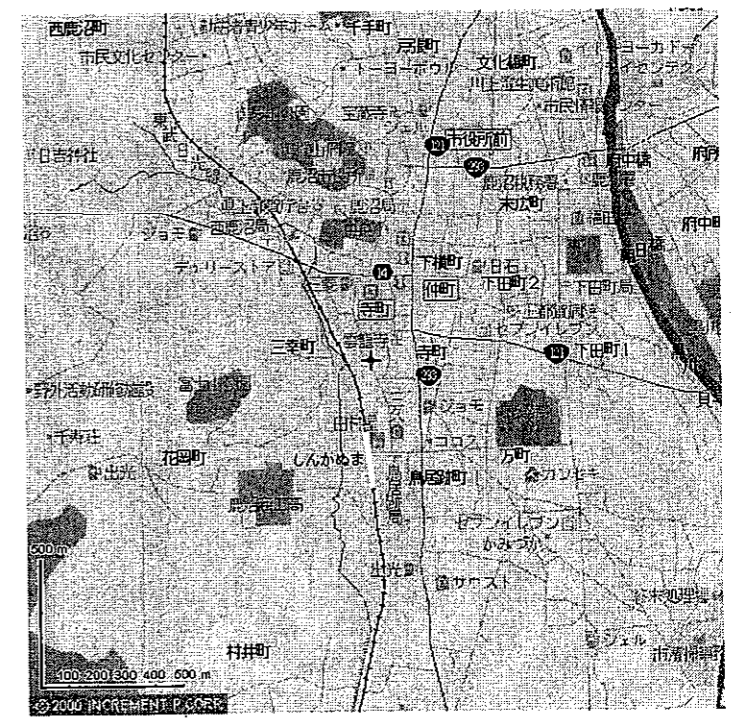
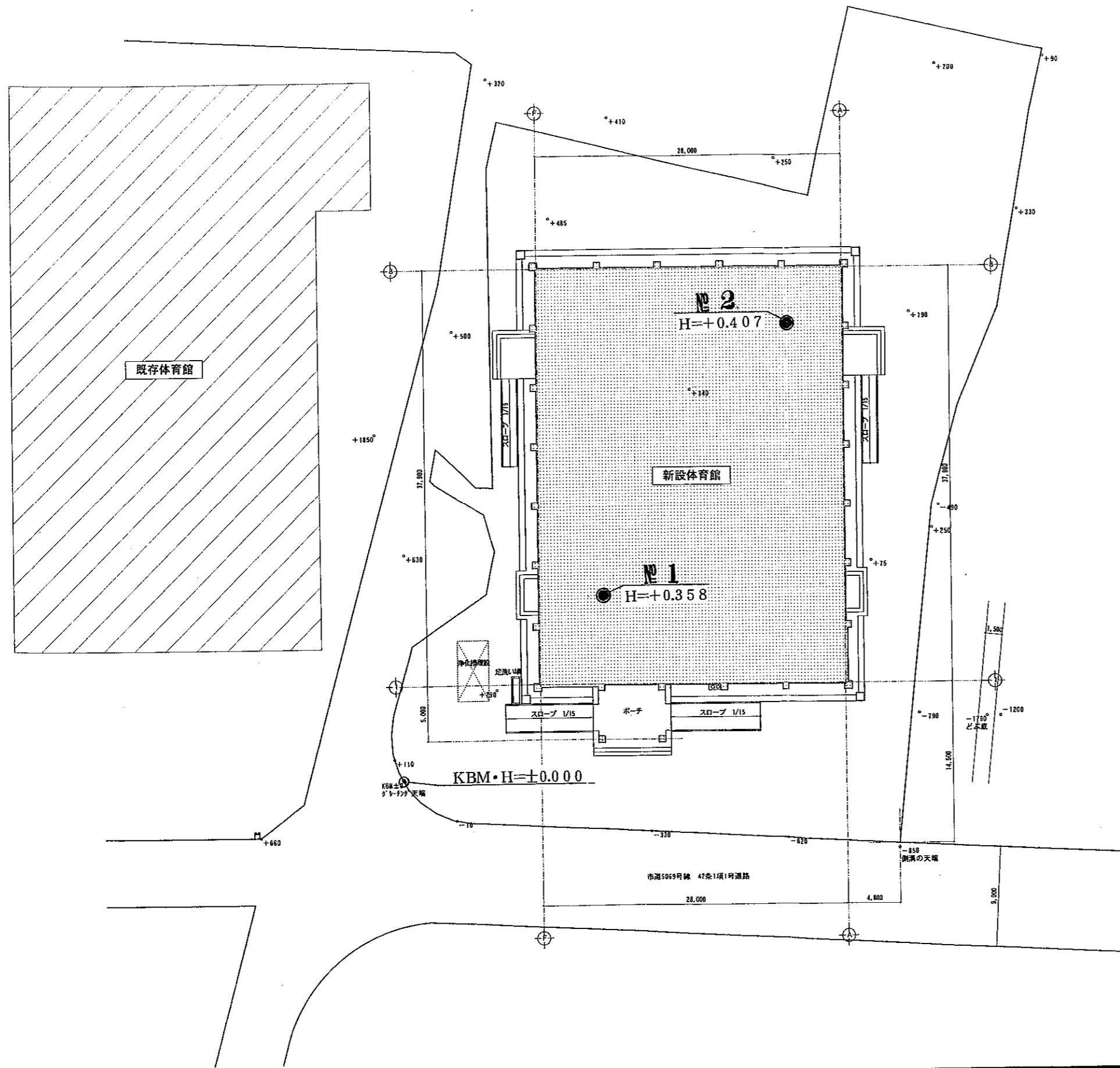
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

案内図

●.....調査地





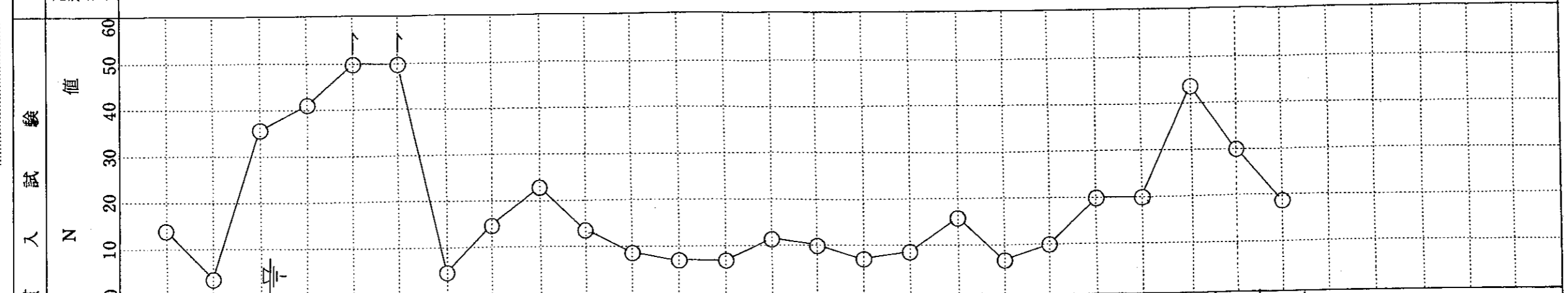
		校 園 審 査 担 当	工 事 名 称 鹿沼商工高校第2体育館新築工事	設 計 名 称	設 計 名 称 配 置 図	縮 尺 S=1/200	日 付	D - 7
--	--	-------------	----------------------------	---------	------------------	----------------	-----	-------

土質柱状図 報告用紙

調査名・調査地点 鹿沼商工高校第2体育館新築工事地質調査標 高 0.358 m 調査年月日 13年2月19日～ 年2月26日

ボーリング孔：No. 1 孔内水位 GL-3.20 m 調査担当者

標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	観察色調	記事	標準貫入試験			試験値	試料採取 試験番号	試料採取 深さ m	
								深さ m	打撃回数 10 cm 打撃量 10 cm 20 cm 30 cm	貫入値				
1						暗	シルト・ローム・風化ローム・粘土の混合土。0.60m 砕石・玉石混入	1.15	2	5	7			
2								1.45						
3	2.45	2.80	2.80	埋	土	灰	上層小粒散石、腐植物、浮石混入、有機質シルト主体	2.15	2	2	14			
4	2.95	3.30	0.50	表	土	黒	層10~15%程度、角レキ主体、マトリックスは砂系、軽石混入、450m付近より450m~500%の玉石連続的に採有	2.45	30	14				
5								3.45	12	11	13			
6					礫混り	石	暗緑灰	浮石・有機物混入、粘性強い	4.15	8	17	16		
7	6.35	6.70	3.40					4.45	50	0				
8	7.95	8.30	1.60		腐植土	黒	腐植土散石、酸化性腐植土	5.00	3	5	6			
9	8.35	8.70	0.40		粘	青	浮石散石、若干砂分混入	5.45	22	7	10			
10	8.90	9.25	0.55		硬質シルト	暗黄	粒径細かく、シルト・砂層の至層状、シルト混入、金水(鉄)	6.01	13	5	5			
11	9.95	10.30	1.05		シルト混り細砂	暗	浮石散石	6.15	9	30	4			
12	11.15	11.50	1.20		腐植土	黒	黄灰硬質シルト、採有(10cm)	7.15	8	30	3			
13	13.25	13.60	2.10		有機質シルト	暗	浮石・腐植物混入、局所的に軟凝固状態呈す、全体に腐食性帯	8.15	11	30	5			
14	14.45	14.80	1.20		粘	暗	浮石散石、砂分帯状に採有、新々緑色混じり	9.15	3	3	3			
15								10.15	10	30	4			
16								11.15	8	30	3			
17								12.15	9	30	3			
18	17.55	17.90	3.10		粘土質シルト	暗	下部砂分混じり、全体に酸化性強(変色)	13.15	16	4	5	7		
19	18.25	18.60	0.70		粘土混り砂	暗	0.2~50%角レキ主体、浮石散石	14.15	8	30	3			
20								15.15	2	3	3			
21	20.15	20.50	1.90		粘土質シルト	暗	浮石・腐植物混入、砂分帯状に採有、局所的に軟凝固状態呈す。	16.15	2	3	5			
22	20.75	21.10	0.60		細	暗	浮石散石、砂分帯状に採有、軟凝固状	17.15	4	8	8			
23	22.15	22.50	1.40		石硬質シルト	暗	0.2~70%角レキ主体、浮石散石、マトリックスは砂系、及び粘土質土	18.15	5	7	8			
24	24.35	24.70	2.20		砂	暗	浮石・腐植物混入、軟凝固状態呈す。	19.15	13	13	17			
25	25.10	25.45	0.75		硬質粘土	暗		20.15	13	10	7			
26								21.15	6	6	7			



備考: 試料採取方法の記号

- デニソン型サンプラー
- ⊕ フォールサンプラー
- シンウォールサンプラー
- × その他

土質柱状図 報告用紙

調査名・調査地点 鹿沼工商高校第2体育館新築工事地質調査標高 +0.407 m 調査年月日 13年2月28日～ 年3月1日
 ボーリング孔：No. 2 孔内水位 GL-3.10 m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験			試料採取						
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数/貫入量 cm	10cmごとの打撃回数	N	値	試料番号	採取方法	
1	1.20	1.60	1.60	X	埋	土 暗褐	岩碎・玉石混入 シルト・ローム・風化 ローム主体	1.15 1.45	19/30	4 5 10	18				
2	2.75	3.15	1.55	X	表	土 黒	上層シルト散在 シルト系主体 若干腐食性帯あり	2.15 2.45	4/30	1 1 2	2				
3	6.80	7.20	4.05	○	礫混り 玉	石 暗緑灰	上層φ10~120mm角 角れ主体 マトリックスは砂系 450mm付近より 玉石連続的に 稜有	3.15 3.45	35/30	9 11 15	15				
4	7.05	7.45	0.25	▽	腐植土	黒	浮石・有機物混入	4.15 4.45	21/30	7 7 7	7				
5								5.00 5.11	50/11	50 11					
6								6.00 6.03	50/3	50 3					
7								7.15 7.45	8/30	2 3 3					

備考：
 試料採取方法の記号
 ● デニソン型サンプラー
 ⊕ フォイルサンプラー
 ○ シンウォールサンプラー
 × その他